

地図帳で深まる主体的な学び

～国語教科書の説明文を例に～

●東京都杉並区立天沼小学校 指導教諭 新宅直人



1 国語の授業における地図帳活用の可能性とは？

「地図帳といえば、社会科の授業で使うのが当たり前」と考える先生は少なくないと思います。しかし、例えば地図帳を活用することで、国語、理科、家庭科、外国語など、さまざまな教科の学習を深められる可能性があるのではないのでしょうか。

今回は国語の学習で地図帳をどのように生かせるかを考えてみました。例えば、「**都道府県の漢字**」は手軽に活用ができそうです。現行の学習指導要領では各都道府県の名前に使われている漢字を4年生で学習することになったので、それに合わせて地図帳でその都道府県の特産物や有名なものを調べて、短文を作ってみるといった活動ができそうです。例えば「和紙作りがさかんな岐阜県。」や「滋賀県には日本一広い琵琶湖がある。」のように楽しみながら漢字の学習ができます。

また、**物語文の学習**でも地図帳が役に立つ可能性が多くあります。物語の舞台となっている地域や国が明らかになっている場合には、そこがどのような場所なのかを地図帳で調べてみることで想像を広げることができます。例えば、『大造じいさんとガン』に登場する栗野岳（鹿児島県）がどのような場所にあるのかを調べたり、『やまなし』の学習と関連して、宮沢賢治が考えたイーハトーヴの世界と実際の岩手県の地図を見比べたりする活動などが考えられます。

2 説明文の学習で地図帳が大活躍！

説明文で扱われる教材にはさまざまなものがありますが、中には地理的な要素を含んだものも少なくありません。その場合には、単元を通して地図帳が活躍できる場面が多くあります。今回は光

村図書の5年生の教科書に掲載されている『固有種が教えてくれること』を例に考えてみたいと思います。この教材では教科書の本文中でもいくつかの地図が提示されており、地図帳との相性はとてもよいといえます。日本における固有種の分布や特徴について、アマミノクロウサギやニホンカワウソ等のいくつかの生物の分布や特徴について説明されているのですが、これを読んだ子どもたちからは「日本には、他にはどんな固有種がいるのだろう。」や「日本と同じような地形や気候の国って他にはないのかな？」といった多くの疑問が生まれてきます。それらの疑問からスタートする探究的な学びを支え、理解を深める手立てとなるのが地図帳です。

3 活用① 各都道府県に生息している固有種は？

地図帳の各地方のページには、それぞれの都道府県に生息している特徴的な生き物が多く紹介されています（**図1**）。

教科書では奄美群島に生息しているアマミノクロウサギが固有種の例として紹介されているので、他の地域にはどのような固有種がいるのか調べてみると、発見が多くあります。**図1**のように、地図帳では「貴重な動植物」は **ピワコオオナマス**



図1 近畿地方のページに描かれている貴重な動植物の例
(令和6年度版『楽しく学ぶ小学生の地図帳』p.48)

のように表わされ見つけやすくなっていることもポイントです。特にカモシカについては教科書本文の後半で、個体数が増加していることについて触れられていることもあり、どの県に生息しているのかを調べてみると、和歌山県や新潟県、山形県などさまざまな県で生息していることがとらえられます。ただし、ここで調べた生き物すべてが「固有種」ではない可能性もあるので、地図帳で見つけた生き物について図鑑やインターネットでも調べてみるとよいと思います。

4 活用2 日本と同じような地形条件の国はある？

本文中では、日本の固有種たちが何万年もその地で繁殖し続けてきた理由として、①国土が南北に長いために寒い地域とあたたかい地域の気候の違いが大きいこと、②地形が変化に富んでおり、平地から標高3000mを越す山岳地帯までであることの2点を挙げています。このような条件の国は世界で日本だけでしょうか？地図帳で世界の国々の形や標高差に着目して、似たような条件の国を探す活動をしてみましょう（写真1）。

一つ目の条件である「南北に長い国土をもつ」は、例えばベトナムやインド等が見つかると思います。二つ目の条件である「高低差の大きい国土」を探す時には、各ページに表示されている高さの凡例を大いに活用しましょう（図2（左））。地図の色分けによって土地の高低が表現されています。

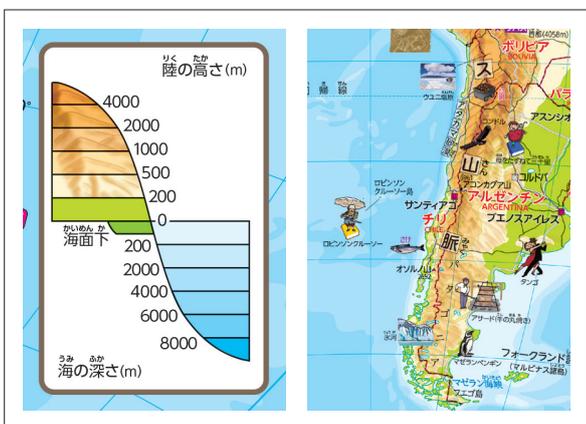


図2 各ページにある土地の高さの凡例（左）とチリ周辺の様子（右）
（令和6年度版『楽しく学ぶ 小学生の地図帳』 p.92）



写真1 南北に長い国は？

ちなみに2つの条件に合致する国の例としてチリがあります。もちろん、チリは日本と同様に動植物の固有種が多く存在しています（図2（右））。

5 活用3 世界にはどんな熊の仲間がいる？

教科書では、北海道に住んでいるヒグマがヨーロッパにまで広く分布していることについて記述があります。世界の他の地域にはどのような熊が生息しているのでしょうか。熊の仲間以外にも、鳥類や猿の仲間などは地域によってさまざまな特徴ある生物が紹介されているので、早く終わった児童に探させてみるのもよいと思います（図3）。



図3 地図で見つけた世界各地の熊や鳥類
（令和6年度版『楽しく学ぶ 小学生の地図帳』 p.83、84、88、91）

6 まだまだ広がる地図帳活用の可能性

今回は説明文の学習での地図帳の活用を提案させていただきました。社会科以外の教科で地図帳をどう活用していくのかはまだ十分に研究されていないので、意外な活用方法が眠っている可能性もあります。ぜひ、みなさんも既成概念にとらわれずにさまざまな教科で地図帳を使ってみてください。